

2000万人のアジアの人びと 310万人の日本人の命をうばった 戦争がおわって69年

侵略戦争の痛苦の経験から、「二度と戦争はしない」と憲法で誓って日本は国際社会に復帰しました。ところが安倍政権は、集団的自衛権の行使容認の「閣議決定」を強行。「戦争する国」につきすすもうとしています。



出陣学徒の壮行会＝
1943年10月21日、東京・神宮外苑競技場

再び日本を 「戦争する国」には なりません 日本共産党

集団的自衛権

“イラク戦争のようなアメリカの戦争で、自衛隊が戦地に派兵され、武力行使をおこなう”——集団的自衛権の正体は、日本を守るためではなく、他国の戦争で日本の若者が血を流すということです。「憲法9条のもとでは海外での武力行使は許されない」としてきた歴代政府の憲法解釈を、安倍政権は国民多数の反対を無視して、一片の「閣議決定」で180度転換。こんな暴挙は許されません。

被爆者が首相に「閣議決定」撤回せまる

広島でも長崎でも被爆者の代表が安倍首相に「閣議決定」の撤回をもとめ、「『戦争しない』という誓いは、被爆国と被爆地の原点だ」と訴えました。いま、弁護士会や宗教界、文化人など、「集団的自衛権許すな」の声は日ごとに大きくひろがっています。

日本共産党は、侵略戦争に命がけで反対した党として、「『海外で戦争する国』づくりを許すな」「解釈で憲法を壊すな」の一点での国民的共同をひろげ、安倍政権の軍国主義復活の野望を打ちくだくために全力をつくします。

集団的自衛権 「閣議決定」



十分説明している12.7%



(共同通信世論調査8月2・3日)

亡国の政治

安倍政権打倒の国民的大運動を



2014年8月 号外

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

☎03-3403-6111 FAX03-5474-8358 ホームページ <http://www.jcp.or.jp>